

RE 90.0 PLUS

STIHL



2 - 20 取扱説明書



目次

- 1 ごあいさつ.....2
- 2 はじめに.....2
- 3 概要.....3
- 4 安全に関する重要事項.....4
- 5 高圧洗浄機の使用準備.....10
- 6 高圧洗浄機の組み立て.....10
- 7 給水源への接続.....12
- 8 高圧洗浄機を電源に接続する.....13
- 9 高圧洗浄機のオン/オフ切り替え.....13
- 10 高圧洗浄機の操作.....13
- 11 作業後.....15
- 12 運搬.....16
- 13 保管.....16
- 14 清掃.....16
- 15 整備.....17
- 16 修理.....17
- 17 トラブルシューティング.....17
- 18 技術仕様.....18
- 19 スペアパーツおよびアクセサリ.....19
- 20 廃棄.....20

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。

Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 適用文書

- 現地の安全規制が適用されます。
- ▶ この取扱説明書の他に、次の文書をお読みに入り、内容を理解し、後日のために安全な場所に保管してください：
 - 使用するアクセサリの取扱説明書およびパッケージ
 - 使用する洗剤の取扱説明書およびパッケージ

2.2 本文中の警告通知

危険

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらすリスクを意味します。
 - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

警告

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらす**おそれがある**リスクを意味します。
 - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

注記

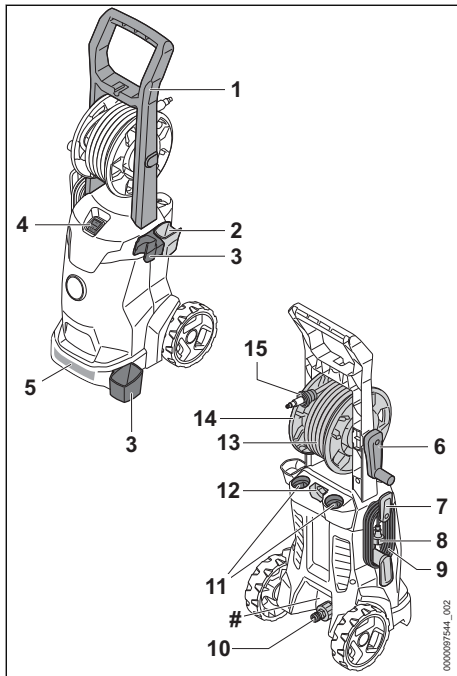
- この通知は、器物損壊等をもたらす**おそれがある**リスクを意味します。
 - ▶ 器物損壊等は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

2.3 本文中の記号

この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 高圧洗浄機



- 1 **ハンドル**
高圧洗浄機の運搬や移動時に使用します。
- 2 **ホルダー**
スプレーガンの収納用に使用します。
- 3 **ホルダー**
スプレーアタッチメントの収納用に使用します。
- 4 **ロッカースイッチ**
高圧洗浄機の電源のオン/オフを切り替えるために使用します。
- 5 **キャリングハンドル**
高圧洗浄機の運搬用に使用します。
- 6 **クランクハンドル**
ホースリールを回転させるために使用します。
- 7 **ホルダー**
回転させることができ、電源ケーブルの収納用に使用します。
- 8 **電源プラグ**
電源ケーブルを電源コンセントに接続します。

9 電源ケーブル

高圧洗浄機を電源プラグに接続するために使用します。

10 コネクタ

給水ホースを接続するために使用します。

11 コンパートメント

付属するノズルの収納用に使用します。

12 ホルダー

スプレーセットの収納用に使用します。

13 高圧ホース

高圧ポンプからの給水をスプレーガンへ導きます。

14 ホースリール

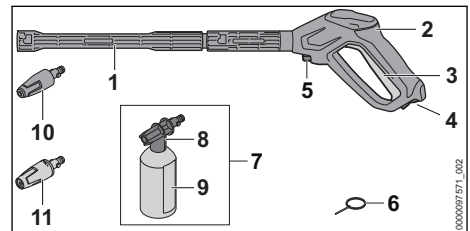
高圧ホースの巻き取り用に使用します。

15 コネクタ

高圧ホースをスプレーガンに接続します。

機械番号付き銘板

3.2 スプレーアタッチメント



1 スプレーランス

スプレーランスにより、スプレーガンとノズルが接続されます。

2 スプレーガン

スプレーガンはスプレーアタッチメントを保持して操作するためのものです。

3 レバー

スプレーガンのバルブを開閉するためのレバーです。レバーを操作すると噴射水が出ます・止まります。

4 保持レバー

保持レバーを操作するとレバーのロックが解除されます。

5 ロッキングレバー

ロッキングレバーにより、コネクタがスプレーガン内に保持されます。

6 洗浄ピン

ノズルを清掃するための洗浄ピンです。

7 スプレーセット¹

洗剤を使用して清掃するためのスプレーセットです。

8 スプレーノズル

水に洗剤を混ぜるためのスプレーノズルです。

9 ボトル

ボトルには洗剤が入っています。

10 ロータリーノズル


ロータリーノズルからは回転する強力な噴射水が噴射されます。


11 ファンジェットノズル


ファンジェットノズルからは平らな噴射水が噴射されます。


3.3 記号


高压洗浄機、スプレーアタッチメント、またはスプレーセットには次のような記号が表示されている場合があります。記号の意味：


 保持レバーがこの位置のときは、トリガールのロックが解除されます。

 保持レバーがこの位置のときは、トリガールがロックされます。

 スプレーセットから洗剤を抜き取ってから輸送するが、倒れたり、ずれたりしないようスプレーセットを固定してください。


 本製品は、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。


 **LWA** 製品が発する騒音を比較できるように、指令 2000/14/EC に準拠して決定された dB(A) 単位の音響出力レベル保証値。

 これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリーに付けられています。

4 安全に関する重要事項**4.1 警告記号**

高压洗浄機に表示されている警告記号の意味：

 安全上の注意事項を順守し、必要な予防措置を講じてください。

 取扱説明書をよく読み、理解し、保管してください。

保護メガネを着用してください。



- 吐出水を人や動物に当てないでください。
- 吐出水を電気システム、電気接点、ソケット、通電中のケーブルに当てないでください。
- 吐出水を電気製品や高压洗浄機自体に当てないでください。



電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している場合、電源プラグを電源コンセントから抜き取ってください。



高压洗浄機を飲料水の給水管に直接接続しないでください。



休憩中や輸送/保管/整備/修理中は、高压洗浄機の電源を切ってください。



温度が 0°C 以下の場所では、高压洗浄機を使用/輸送/保管しないでください。

4.2 正しい使用方法

高压洗浄機 STIHL RE 90.0 PLUS は、車両、トレーラー、テラス、道や建物の外面などを洗浄するためのものです。

この高压洗浄機は商用利用には適していません。

雨天時には高压洗浄機を使用してはなりません。

▲ 警告

- 高压洗浄機を正しく使用しないと、人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 高压洗浄機は、この取扱説明書の記載通りに使用してください。

高压洗浄機 STIHL RE 90.0 PLUS は、以下の用途向けではありません：

- アスベストセメントや類いの表面の洗浄
- 鉛含有塗料で塗装された表面の洗浄
- 食品と接触する表面の洗浄
- 高压洗浄機自体の洗浄

4.3 使用者が満たすべき条件**▲ 警告**

- 指導を受けたことのない使用者は、高压洗浄機の危険の認識や評価ができません。そうした

¹ 仕様および市場に応じて同梱されています

使用者または第三者は、重傷または致命傷を負うおそれがあります。



- ▶ 取扱説明書を読み、内容を理解し、参照用に安全な場所に保管してください。

- ▶ 高圧洗浄機を貸与/譲渡する場合、取扱説明書も一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
 - 十分な休息を取っている。

– 肉体的、感覚的、精神的な障害を抱える人(子供を含む)や、経験や知識が欠けている人は、この機械を使用していない。

– 使用者が高圧洗浄機の危険を認知することができる。

– 使用者が法定年齢に達しているか、国の規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。

– 初めて高圧洗浄機を使用する前に、使用者が STIHL サービス店またはその他の経験豊富な使用者から指導を受けた。

– アルコール類、薬剤、または麻薬等の影響を受けていない。

- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店にお問い合わせください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。使用者が負傷するおそれがあります。



- ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。European Standard(欧州基準) EN 166 または日本の基準に従って試験され、認証マークの付いた適切な保護メガネが販売されています。

- ▶ 身体に合った長袖の上着と長ズボンを着用してください。

- 高圧洗浄機の使用中は、噴霧(エアゾル)が発生することがあります。噴霧を吸い込むと健

康に害が及び、アレルギー反応が引き起こされるおそれがあります。

- ▶ 洗浄面とその周囲の状況に応じて、リスクアセスメントを行います。

- ▶ リスクアセスメントの結果、噴霧が発生することが判明した場合は、クラス FFP2 または同等の保護等級の防塵マスクを着用してください。

- 不適切な履物を履くと、滑ったり、転倒したりするおそれがあります。使用者が負傷するおそれがあります。

- ▶ 靴底が滑らず、頑強な作りの、足の露出していない靴を履いてください。

4.5 作業エリアおよび周辺環境

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、高圧洗浄機または飛散物の危険を認識していないだけでなく、そうした危険を認知できません。見物人、子供、動物は重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ 作業エリアに見物人、子供、動物を近付けないでください。

- ▶ 高圧洗浄機を無人のまま放置しないでください。

- ▶ 子供が高圧洗浄機で遊ばないよう注意してください。

- 雨の中または湿った場所で作業を行うと、感電することがあります。使用者が重傷を負ったり、死亡したり、高圧洗浄機が損傷したりするおそれがあります。

- ▶ 雨の中では使用しないでください。

- ▶ 高圧洗浄機は、水滴がかからない場所に配置してください。

- ▶ 高圧洗浄機は、濡れる作業エリアの外側に配置してください。

- 高圧洗浄機の電気部品から火花が発生することがあります。可燃物や爆発物が存在する環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。それにより重傷/死亡事故や器物損壊事故が生じるおそれがあります。

- ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業しないでください。

4.6 安全に関する条件

高圧洗浄機は、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 高圧洗浄機が損傷していない。
- 高圧ホース、ハンドル、カップリング、スプレアタッチメントが損傷していない。

- ハンドルとスプレーアタッチメントが適切に取り付けられている。
- 電源ケーブル、延長ケーブル、各プラグが損傷していない。
- 高圧洗浄機が清潔かつ乾燥した状態になっている。
- スプレーアタッチメントが清潔な状態になっている。
- 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- 本高圧洗浄機用に設計された STIHL 純正アクセサリーが取り付けられている。
- アクセサリーが適切に取り付けられている。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるが、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 損傷した高圧洗浄機は絶対に使用しないでください。
 - ▶ 高圧洗浄機は、高圧ホース、ハンドル、カップリング、スプレーアタッチメントが損傷していない状態で使用してください。
 - ▶ ハンドルとスプレーアタッチメントは、必ず本取扱説明書に従って取り付けてください。
 - ▶ 損傷した電源ケーブル、延長ケーブル、または電源プラグは絶対に使用しないでください。
 - ▶ 高圧洗浄機が汚れているか、濡れている場合、清掃し、乾かしてください。
 - ▶ スプレーアタッチメントが汚れた場合、スプレーアタッチメントを清掃してください。
 - ▶ 高圧洗浄機は改造しないでください。
 - ▶ 操作部が作動しない場合、高圧洗浄機を使用しないでください。
 - ▶ 必ず本高圧洗浄機用の STIHL 純正アクセサリーを取り付けてください。
 - ▶ アクセサリーは、本取扱説明書またはアクセサリーに付属する取扱説明書に従って装着してください。
 - ▶ 高圧洗浄機の開口部には物を差し込まないでください。
 - ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。
 - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.7 作業時

▲ 警告

- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなる場合があります。それによりつまずいたり、転倒したり、重傷を負ったりするおそれがあります。

- ▶ 常に冷静に作業を計画してください。
- ▶ 明るさと視界が不良の場合、高圧洗浄機を使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機は一人で操作してください。
- ▶ 障害物に注意してください。
- ▶ 地面に立ち、バランスを保ちます。高所で作業を行う必要がある場合：昇降式の移動作業台または安定した足場を使用してください。
- ▶ 疲労を感じたときは、休憩を取ってください。
- 作業中に高圧洗浄機の挙動が変化したか、異常が感じられた場合は、高圧洗浄機は危険な状態になっているおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 作業を中止し、電源プラグを電源コンセントから抜き取り、STIHL サービス店にご連絡ください。
 - ▶ 本機は、常に立てた状態で使用してください。
 - ▶ 冷却用に空気が十分に換気されるよう、高圧洗浄機にカバーを被せないでください。
- スプレーガンのトリガーを放すと、高圧ポンプが自動的に停止し、ノズルから水が吐出されなくなります。高圧洗浄機はスタンバイモードになりますが、電源は入ったままです。スプレーガンのトリガーを握ると、高圧ポンプが再び自動的に作動し、ノズルから水が吐出されます。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 機械を操作していないときは、スプレーガンのトリガーをロックします。



▶ 高圧洗浄機の電源を切ります。

- ▶ 高圧洗浄機の電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- 気温が 0°C 以下のときは、洗浄面で水分が凍結し、高圧洗浄機の部品内で水が凍結するおそれがあります。それにより転倒事故や落下事故が生じたり、重傷を負ったりするおそれがあります。物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ 温度が 0°C 以下の場所では、高圧洗浄機を使用しないでください。
- 高圧ホース、給水ホース、または電源ケーブルを引っ張ると、高圧洗浄機が動き、転倒することがあります。物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ 高圧ホース、給水ホース、または電源ケーブルを引っ張らないでください。
- 斜面、凹凸面、柔らかい面に設置すると、高圧洗浄機が動き、転倒することがあります。物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ 高圧洗浄機は水平で平坦な硬い面に設置してください。

- 高所で作業を行うと、高圧洗浄機またはスプレーアタッチメントが地面に落下するおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ リフトバケットまたは安全な足場を使用してください。
 - ▶ 高圧洗浄機は、リフトバケットまたは足場に載せないでください。
 - ▶ 高圧ホースの長さが不十分な場合、延長用高圧ホースを接続して高圧ホースを延長してください。
 - ▶ 落下しないようにスプレーアタッチメントを固定してください。
- 吐出水によって洗浄面からアスベスト繊維が剥がれ落ちるおそれがあります。アスベスト繊維は乾燥後に空中に飛散するため、それを吸入してしまうおそれがあります。アスベスト繊維は、吸入すると身体に害が及ぶ可能性があります。
 - ▶ アスベストが含まれる面は洗浄しないでください。
- 洗浄水によって車両または機械類から油分が洗い流される場合があります。油分を含む汚水が土壌、下水システム、排水路に流入するおそれがあります。それにより環境に害が及ぶことがあります。
 - ▶ 車両または機械類は、必ず排水路にオイルトラップが設置されている場所で洗浄してください。
- 鉛入り塗料の塗装面では、吐出水によって鉛が含まれる霧や排水が生じるおそれがあります。鉛が含まれる霧や排水が土壌、下水システム、排水路に流入するおそれがあります。煙霧を吸い込むと健康に害が及び、アレルギー反応を引き起こされるおそれがあります。それにより環境に害が及ぶことがあります。
 - ▶ 鉛入り塗料(ラッカーを含む)で塗装された面は洗浄しないでください。
- 傷付きやすい面が洗浄水によって損傷するおそれがあります。物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ 傷付きやすい面はロータリーノズルで洗浄しないでください。
 - ▶ ゴム、繊維、木や同様の素材製の傷付きやすい面は、圧力を弱め、離れた距離から洗浄してください。
- 操作中にロータリーノズルを汚水に沈めて使用すると、ロータリーノズルが損傷するおそれがあります。
 - ▶ ロータリーノズルは汚水内では使用しないでください。
 - ▶ 容器の洗浄時は、容器を空にし、洗浄中は容器から汚水を排出させてください。
- 燃えやすい液体や爆発が起きやすい液体を使用すると、火災や爆発が生じるおそれがあり

す。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ 引火しやすい液体や爆発が起きやすい液体の吸入や散布は行わないでください。
- 炎症性、腐食性、毒性を有する液体を吸入すると、健康に害が及び、高圧洗浄機の部品が損傷するおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 炎症を引き起こす液体、腐食性がある液体、毒性がある液体の吸入や散布は行わないでください。
- 強力な吐出水は人や動物に重傷を負わせ、器物を損壊させるおそれがあります。



▶ 吐出水を人や動物に当てないでください。

- ▶ 吐出水は完全に目視できない場所に当てないでください。
- ▶ 着用中の衣服を洗浄するために高圧洗浄機を使用しないでください。
- ▶ 着用中の靴やブーツを洗浄するために高圧洗浄機を使用しないでください。
- 電気機器、電気接点、電源コンセント、通電中の電源ケーブルに水がかかると、感電するおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。



▶ 吐出水を電気システム、電気接点、ソケット、通電中のケーブルに当てないでください。

- ▶ 吐出水を電源ケーブルや延長ケーブルに当てないでください。
- 電気機器または高圧洗浄機に水がかかると、感電するおそれがあります。重傷/死亡事故や物的損害事故が生じるおそれがあります。



▶ 吐出水を電気製品や高圧洗浄機自体に当てないでください。

- ▶ 電気製品や高圧洗浄機は洗浄面から離してください。
- 不適切に取り回すと、高圧ホースが損傷することがあります。損傷すると、高圧水が制御できない状態で周囲に漏れ出すおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 吐出水を高圧ホースに当てないでください。
 - ▶ 高圧ホースは引っ張られたり、もつれたりしないように取り回してください。

- ▶ 高圧ホースは損傷したり、折れ曲がったり、つぶれたり、擦り切れたりしないように取り回してください。
- ▶ 高圧ホースは熱、オイル、化学薬品から保護してください。
- 給水ホースを不適切に取り回すと、損傷したり、つまずいたりするおそれがあります。負傷事故が生じたり、給水ホースが損傷したりするおそれがあります。
 - ▶ 吐出水を給水ホースに当てないでください。
 - ▶ 給水ホースはつまづかない位置に配置し、ホースが敷設されていることを表示してください。
 - ▶ 給水ホースは引っ張られたり、もつれたりしないように取り回してください。
 - ▶ 給水ホースは損傷したり、折れ曲がったり、つぶれたり、擦り切れたりしないように取り回してください。
 - ▶ 給水ホースは熱、オイル、化学薬品から保護してください。
- 強力な吐出水によって反発力が生じます。その結果生じる反発力で高圧洗浄機の制御を失うおそれがあります。使用者が重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ スプレーガンを両手で確実に保持してください。
 - ▶ 高圧洗浄機は本書に従って使用してください。

4.8 洗剤

▲ 警告

- 洗剤が皮膚に付着したり、眼に入ったりすると、炎症が起きるおそれがあります。
 - ▶ 洗剤の取扱説明書に従ってください。
 - ▶ 洗剤には接れないでください。
 - ▶ 皮膚に付着した場合：大量の水と石鹸で付着した部分を洗浄してください。
 - ▶ 眼に入った場合：大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 不適切な洗剤を使用すると、高圧洗浄機または洗浄面が損傷し、環境に害が及ぶおそれがあります。
 - ▶ STIHL 社は STIHL 純正洗剤の使用をお勧めしています。
 - ▶ 洗剤の取扱説明書に従ってください。
 - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.9 給水源への接続

▲ 警告

- スプレーガンのトリガーを放すと、給水ホース内でキックバックが生じます。キックバックによって汚染水が飲料水の給水管に逆流する

ことがあります。それにより飲料水が汚染されるおそれがあります。



- ▶ 高圧洗浄機を飲料水の給水管に直接接続しないでください。
- ▶ 上水供給機関の規制を遵守してください。必要に応じて、飲料水の給水管に接続する際に適切な分離機構(逆流防止弁等)を使用してください。
- 汚れや砂の混入した水によって高圧洗浄機の部品が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 不純物が含まれていない水を使用してください。
 - ▶ 汚れや砂の混入した水を使用する場合、高圧洗浄機に水フィルターを使用してください。
- 高圧洗浄機への給水量が不十分な場合、高圧洗浄機の部品が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 水道栓を完全に開けます。
 - ▶ 高圧洗浄機への給水量が十分か確認してください、☑ 18。

4.10 電源への接続

以下が生じていると、通電部品に接触するおそれがあります：

- 電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している。
- 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグが損傷している。
- 電源コンセントが正しく設置されていない。



▲ 危険

- 通電部品に接触すると、感電するおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 電源ケーブル、延長ケーブル、およびそれらのプラグが損傷していないか確認してください。



- ▶ 電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している場合：
 - ▶ 損傷している部分に触らないでください。
 - ▶ 電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ▶ 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグに触る前に、手が乾いていることを確認してください。
- ▶ 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグを適切に設置された、ヒューズの定格が正しい感電防止コンセントに接続してください。
- ▶ 主電源の接続工事は、有資格電気技術者が IEC 60364-1 の要件を満たして行う必要があります。本機は、アースへの漏れ電流が 30ms の間、30mA を越える場合に直ちに電源を遮断するか、アーステスターを搭載す

る漏電遮断器を介して電源に接続してください。

- 損傷するか、不適切な延長ケーブルは、感電の原因になることがあります。作業者が重傷を負うか、死亡するおそれがあります。
 - ▶ 断面積が適切な延長ケーブルを使用してください、 18.2。
 - ▶ 防沫型で、屋外用として承認された延長ケーブルのみを使用してください。
 - ▶ 高圧洗浄機の電源ケーブルと同じ特性の延長ケーブルを使用してください、 18.2。
 - ▶ 床面から 60 mm 以上の高さにコンセントが設けられているケーブルリールを使用することをお勧めします。

▲ 警告

- 作業中、主電源の電圧または周波数が適正でないと、高圧洗浄機に過電圧が加わることがあります。高圧洗浄機が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 主電源の電圧と周波数が、高圧洗浄機の銘板に記載されているデータと一致しているか確認してください。
- 複数のパワーツールを複数個口の電源コンセントに接続すると、操作中に電気部品に過負荷が加わることがあります。電気部品が加熱し、火災が生じるおそれがあります。それにより重傷や致命傷を負ったり、物損事故が生じたりするおそれがあります。
 - ▶ 必ず 1 台の高圧洗浄機だけを一つの電源コンセントに接続してください。
 - ▶ 複数個口の電源コンセントに複数台の高圧洗浄機を接続しないでください。
- 電源ケーブルまたは接続ケーブルを不適切に配置すると、損傷したり、つまずいたりするおそれがあります。負傷事故が生じたり、電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷したりするおそれがあります。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、洗浄水がかからない位置に配置してください。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、つまずかない位置に配置し、ケーブルが敷設されていることを表示してください。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、張力が加わったり、絡まったりしない位置に配置してください。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、損傷したり、折れ曲がったり、つぶれたり、擦り切れたりしない位置に配置してください。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、熱、オイル、化学薬品から保護してください。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、乾いた面に敷設してください。

- 操作中、延長ケーブルは熱くなります。熱を逃がすことができないと、火災が生じるおそれがあります。
 - ▶ ケーブルリールを使用する場合、ケーブルをリールから完全に引き出して使用してください。

4.11 運搬

▲ 警告

- 高圧洗浄機は、輸送中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。それにより負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ スプレーガンのトリガーをロックします。
 - ▶ 高圧洗浄機の電源を切ります。
- ▶ 高圧洗浄機の電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- ▶ スプレーセットから洗剤を抜き取るか、倒れたり、ずれたりしないようスプレーセットを固定します。
- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう、高圧洗浄機を固定ストラップ、ベルト、またはネットで固定します。
- 気温が 0°C 以下のときは、高圧洗浄機の部品内で水が凍結するおそれがあります。高圧洗浄機が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 高圧ホースとスプレーアタッチメントから洗浄水を抜きます。
 - ▶ 輸送中に高圧洗浄機が凍結するおそれがある場合：高圧洗浄機をグリコールベースの不凍液で保護してください。



4.12 保管

▲ 警告

- 子供は、高圧洗浄機の危険を認識/認知できません。子供は重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ スプレーガンのトリガーをロックします。
 - ▶ 高圧洗浄機の電源を切ります。
- ▶ 高圧洗浄機の電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- ▶ 高圧洗浄機は子供の手の届かないところに保管してください。
- 水分によって高圧洗浄機の電気接点と金属部品が腐食することがあります。高圧洗浄機が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 高圧洗浄機は清潔かつ乾燥した状態で保管してください。
- 気温が 0°C 以下のときは、高圧洗浄機の部品内で水が凍結するおそれがあります。高圧洗浄機が損傷するおそれがあります。



- ▶ 高圧ホースとスプレーアタッチメントから洗浄水を抜きます。



- ▶ 保管中に高圧洗浄機が凍結するおそれがある場合：高圧洗浄機をグリコールベースの不凍液で保護してください。

4.13 清掃、整備、修理

▲ 警告

- 清掃、整備、修理時に電源プラグを電源コンセントに接続しておく、高圧洗浄機が偶発的に作動することがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。

- ▶ スプレーガンのトリガーをロックします。



- ▶ 高圧洗浄機の電源を切ります。

- ▶ 高圧洗浄機の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- 強力な洗剤、高圧洗浄機、または尖った物体を使用して清掃すると、高圧洗浄機が損傷するおそれがあります。高圧洗浄機を適切に清掃しないと、部品が正常に作動しなくなり、安全装置が動かなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。

- ▶ 高圧洗浄機は必ず本取扱説明書に従って清掃してください。

- 高圧洗浄機を適切に整備または修理しないと、部品が正常に作動しなくなり、安全装置が動かなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ 高圧洗浄機の整備や修理を試みないでください。

- ▶ 電源ケーブルに不具合や損傷が生じている場合、STIHL サービス店に電源ケーブルの交換を依頼してください。

- ▶ 高圧洗浄機に整備や修理が必要なときは、STIHL サービス店にお問い合わせください。

5 高圧洗浄機の使用準備

5.1 高圧洗浄機の使用準備

毎回作業を開始する前に、以下の手順を踏む必要があります：

- ▶ 高圧洗浄機、高圧ホース、ホース継手と接続ケーブルが安全な状態にあることを確認してください、 4.6。

- ▶ 高圧洗浄機を清掃してください、 14。

- ▶ 水フィルターを使用する場合：水フィルターの汚れを点検して、汚れている場合は洗浄してください、 14.4。

- ▶ 高圧洗浄機を安定した平らな地面の上に置いて、滑らないように、また傾いて倒れないようにしてください。

- ▶ 高圧ホースをホースリールから完全に引き出してください、 10.2。

- ▶ スプレーガンを取り付けてください、 6.2。

- ▶ スプレーランスを取り付けてください、 6.3。

- ▶ ノズルを使用する場合：ノズルを取り付けてください、 6.4.1。

- ▶ 洗剤を使用する場合：洗剤とスプレーセットを使用して作業してください、 10.5。

- ▶ 水を接続してください、 7。

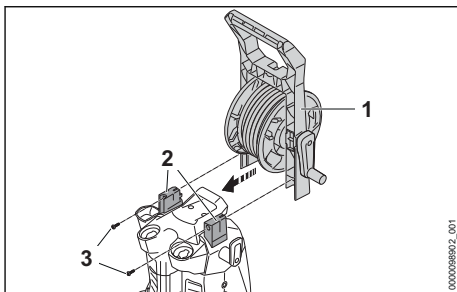
- ▶ 高圧洗浄機を電氣的に接続してください、 8.1。

- ▶ この手順を踏むことができない場合：高圧洗浄機の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。

6 高圧洗浄機の組み立て

6.1 高圧洗浄機の組み立て

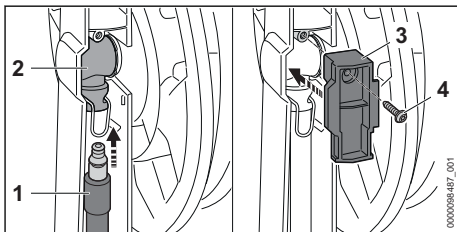
ハンドルとホースリールの取り付け



- ▶ ハンドル (1) をホルダー (2) に押し込みます。

- ▶ ネジ (3) をねじ込んで、しっかりと締め付けます。

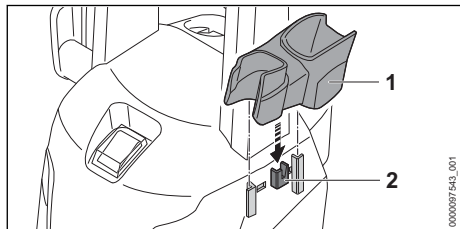
ホースリールの接続



- ▶ コネクター (1) を継手 (2) に取り付けます。カチッという音がしてコネクター (1) がかみ合います。

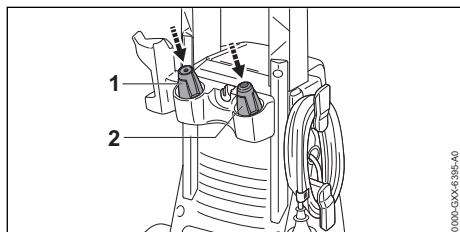
- ▶ カバー (3) をネジ (4) で固定します。

ホルダーの取り付け



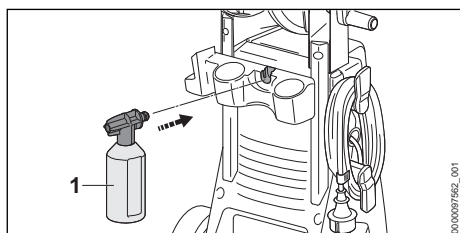
- ▶ ホルダー (1) をガイド (2) に掛けます。カチッという音がしてホルダー (1) がかみ合います。

ノズルの取り付け



- ▶ ファンジェットノズル (1) とロータリーノズル (2) を取り付けます。

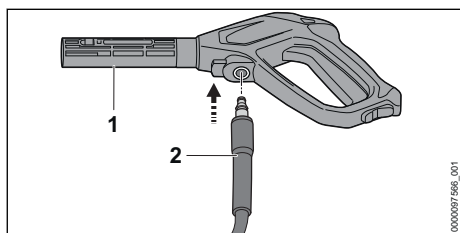
スプレーセットの取り付け



- ▶ スプレーセット (1) を取り付けます。

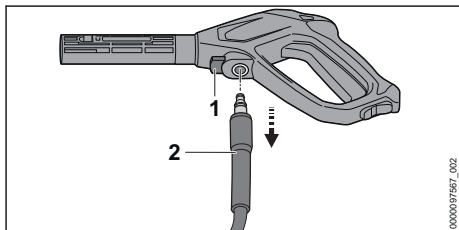
6.2 スプレーガンの取り付けと取り外し

6.2.1 スプレーガンの取り付け



- ▶ コネクター (2) をスプレーガン (1) に差し込みます。コネクター (2) がかみ合うと、カチッという音がします。
- ▶ コネクター (2) をスプレーガン (1) に押し込みにくい場合、コネクター (2) のガスケットに接続部用グリースを塗布してください。

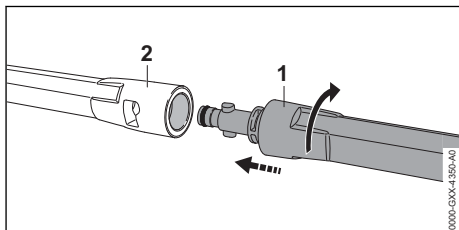
6.2.2 スプレーガンの取り外し



- ▶ ロッキングレバー (1) を押して保持します。
- ▶ コネクター (2) を引き抜きます。

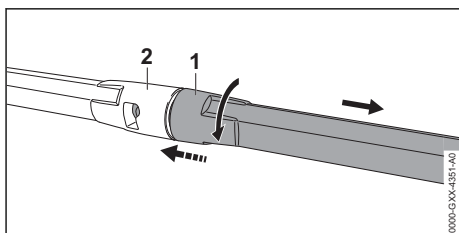
6.3 スプレーランスの取り付けと取り外し

6.3.1 スプレーランスの取り付け



- ▶ スプレーランス (1) をスプレーガン (2) に押し込みます。
- ▶ はまるまでスプレーランス (1) をひねりまわします。
- ▶ スプレーランス (1) をスプレーガン (2) に押し込みにくい場合：スプレーランス (1) のガスケットに接続部用グリースを塗布してください。

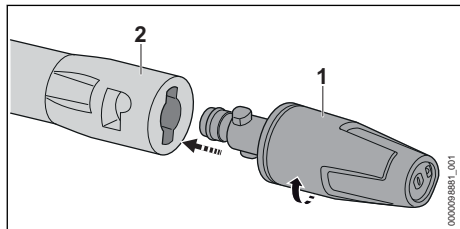
6.3.2 スプレーランスの取り外し



- ▶ スプレーランス (1) とスプレーガン (2) の両方をすぼめ、止まる位置までねじります。
- ▶ スプレーランス(1)とスプレーガン (2) を引き離します。

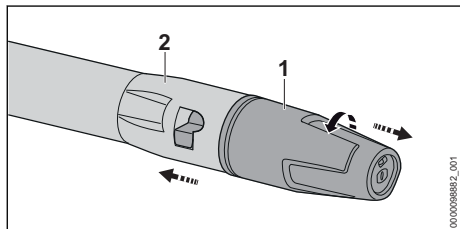
6.4 ノズルの取り付けと取り外し

6.4.1 ノズルの取り付け



- ▶ ノズル (1) をスプレーランス (2) に押し込みます。
- ▶ かみ合うまでノズル (1) を回転させます
- ▶ ノズル (1) をスプレーランス (2) に押し込みにくい場合、ノズル (1) のガスケットに接続部用グリースを塗布してください。

6.4.2 ノズルの取り外し



- ▶ ノズル (1) とスプレーランス (2) を共に押し、止まるまで回します。
- ▶ スプレーランス(1)とスプレーガン (2) を引き離します。

7 給水源への接続

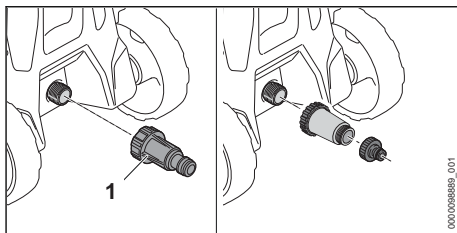
7.1 高圧洗浄機を水道に接続する

水フィルターの接続

砂を含む水または貯水槽にある水で高圧洗浄機を使用する場合は、高圧洗浄機に水フィルターが接続されている必要があります。水フィルターが砂と汚れを水から取り除くことで、高圧洗浄機の部品が損傷から保護されます。

市場によっては、水フィルターが高圧洗浄機に同梱されている場合があります。

- ▶ コネクターをねじって外してください。

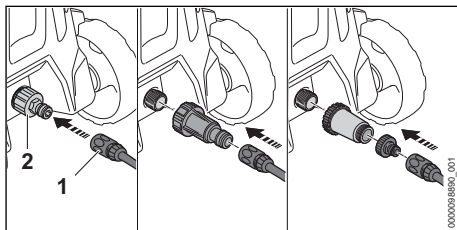


- ▶ 水フィルター (1) を水接続口にねじ込んで、手でしっかりと締め付けてください。

給水ホースの接続

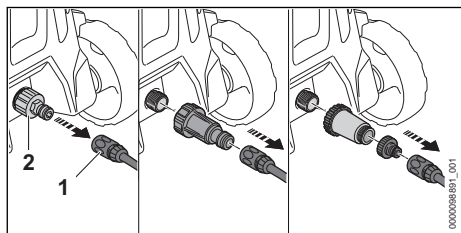
給水ホースは以下の条件を満たす必要があります：

- 給水ホースの直径が 1/2 インチであること。
- 給水ホースの長さが 10 m ~ 25 m であること。
- ▶ 給水ホースを蛇口に接続してください。
- ▶ 蛇口を完全に開けて、給水ホースを水ですすいでください。
- 砂と汚れが給水ホースから洗い流されます。給水ホース内の空気が抜かれます。
- ▶ 蛇口を閉めてください。



- ▶ 継手 (1) をコネクター (2) に押し込みます。カチッという音がして継手 (1) がかみ合います。
- ▶ 蛇口を完全に開けてください。
- ▶ スプレーランスがスプレーガンに取り付けられている場合：スプレーランスを取り外してください。
- ▶ スプレーガンのレバーを押し続けて、スプレーガンから噴射水が一定に放出されるようにしてください。
- ▶ スプレーガンのレバーを離してください。
- ▶ スプレーガンのレバーをロックしてください。
- ▶ スプレーランスを取り付けてください。
- ▶ ノズルを取り付けてください。

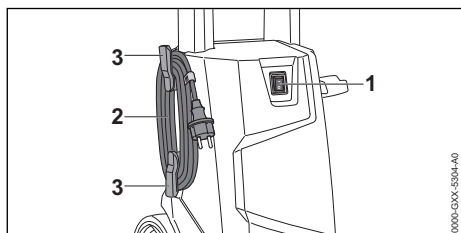
給水ホースを引き抜く



- ▶ 蛇口を閉めてください。
- ▶ 継手のロックを解除するには、リング（1）を引くか回して保持します。
- ▶ 継手をコネクター（2）から引き抜きます。

8 高圧洗浄機を電源に接続する

8.1 高圧洗浄機を電源に接続する

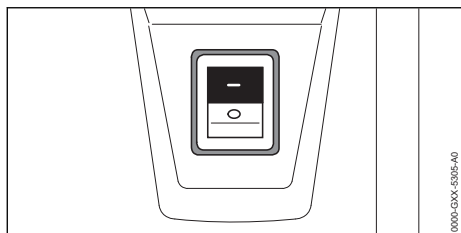


- ▶ ロッカースイッチを0の位置に合わせます。
- ▶ 電源ケーブル（2）をホルダー（3）から外します。
- ▶ 電源ケーブルのプラグを適切に設置された電源コンセントに差し込みます。

9 高圧洗浄機のオン/オフ切り替え

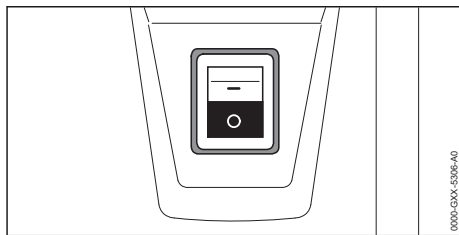
9.1 高圧洗浄機の電源を入れる

高圧洗浄機のスイッチをオンにする際に電源状態が悪いと、電圧変動が発生する可能性があります。電圧変動が発生すると、接続されている他の負荷に悪影響が及ぶ可能性があります。



- ▶ ロッカースイッチをIの位置にします。

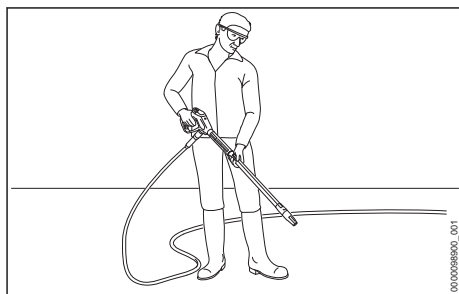
9.2 高圧洗浄機の電源を切る



- ▶ ロッカースイッチを0の位置にします。

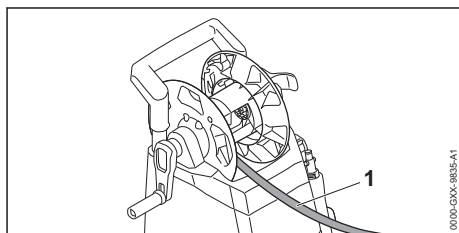
10 高圧洗浄機の操作

10.1 スプレーガンの保持と操作



- ▶ 片手でハンドルを握り、スプレーガンを持続します。ハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 反対側の手でスプレーランスをしっかりと保持します。スプレーランスに親指をかけてください。
- ▶ ノズルを地面に向けます。

10.2 高圧ホースの引き出し

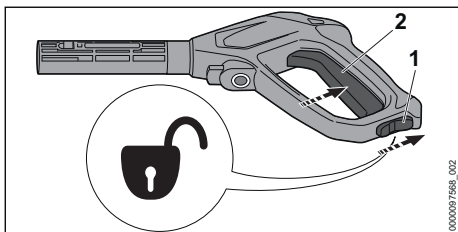


警告

- スプレーガンのトリガーを放すと、高圧ホースが跳ね上がります。それにより高圧ホースが膨張します。高圧ホースをホースリールから完全に引き出さないと、膨張する余地がなくなり、高圧ホースが損傷するおそれがあります。制御されない高圧水が周囲に漏れ出すことがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 高圧ホースを巻かれた状態から完全に引き出してください。
- ▶ 高圧ホース (1) をリールから完全に引き出します。

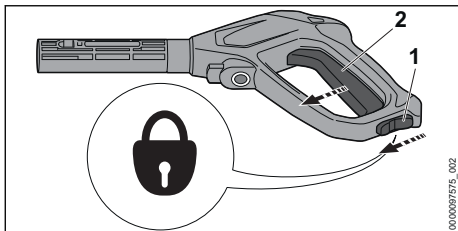
10.3 スプレーガンのトリガーの操作とロック方法

スプレーガンのトリガーを握る



- ▶ 保持レバー (1) を θ マークの位置まで動かします。
- ▶ トリガー (2) を握ります。高圧ポンプが自動的に始動し、ノズルから水が吐出されます。

スプレーガンのトリガーをロックする



- ▶ トリガー (2) を放します。高圧ポンプが自動的に停止し、ノズルから水が吐出されなくなります。高圧洗浄機は、電源が入った状態になっています。
- ▶ 保持レバー (1) を θ マークの位置まで動かします。

10.4 洗浄

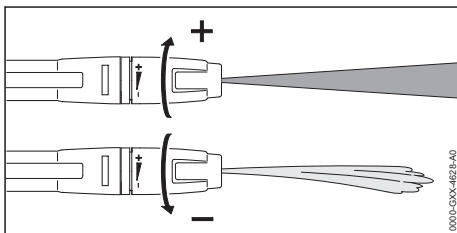
用途に応じて次のノズルを使用できます：

- ファンジェットノズル：ファンジェットノズルは、広い範囲を洗浄する目的用に設計されています。
- ロータリーノズル：ロータリーノズルは、頑固な汚れを落とす目的用に設計されています。

頑固な汚れを取り除くために、洗浄面に近付いて作業を行うことができます。

次の面を洗浄するときは、一定の距離で作業を行う必要があります：

- 塗装面
- 木材/木製品の表面
- ゴムの表面

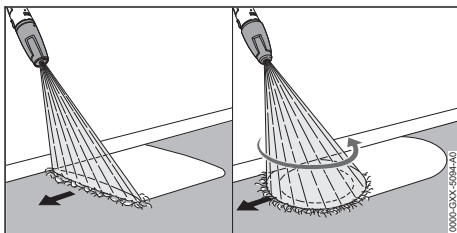


ファンジェットノズルは、調整が可能です。

ファンジェットノズルを+の方向に回すと、吐出圧力が高くなります。

ファンジェットノズルを-の方向に回すと、吐出圧力が低くなります。

- ▶ 作業を開始する前に、目立たない面に吐出水を当て、表面が損傷しないか確認してください。
- ▶ 洗浄面が損傷しないようにノズルと洗浄面の間の距離を選定してください。
- ▶ 洗浄面が損傷しないようにファンジェットノズルを調整してください。

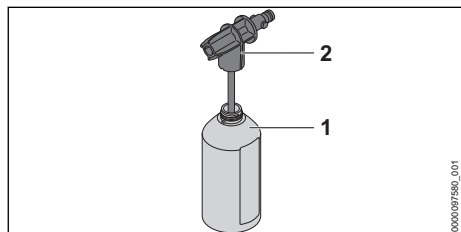


- ▶ スプレーアタッチメントを洗浄面に沿って均一に動かします。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前側に移動します。

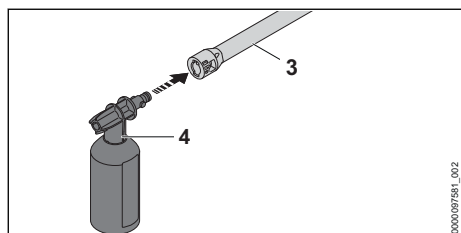
10.5 洗剤を使用して作業する

洗剤を使用すると、水の洗浄効果を高めることができます。洗剤を使用して作業するには、STIHL スプレーセットを使用する必要があります。

STIHL スプレーセットは仕様および市場に応じて同梱されています。



- ▶ 洗剤は、洗剤の取扱説明書の記載通りに量を調整して使用してください。
- ▶ ボトル (1) に洗剤を最大 500 ml 注入してください。
- ▶ スプレーノズル (2) をボトル (1) にねじ込んで、手でしっかりと締め付けてください。



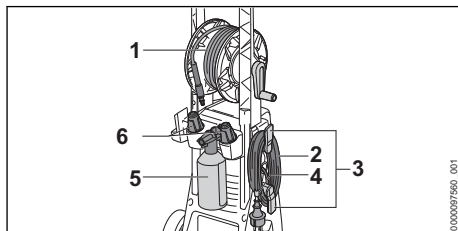
- ▶ ノズルがスプレーランス (3) に取り付けられている場合：ノズルを取り外してください。
- ▶ スプレーセット (4) をスプレーランス (3) に取り付けてください。
- ▶ 汚れの酷い表面は、洗浄する前に水に浸してください。
- ▶ スプレーガンのレバーを押して、洗浄する表面に洗剤を吹き付けてください。
- ▶ 洗剤は下から上に吹き付け、乾燥してこびりつくことがないようにしてください。
- ▶ スプレーセットを取り外してください。
- ▶ ノズルを取り付けてください。
- ▶ 表面を洗浄してください。

11 作業後

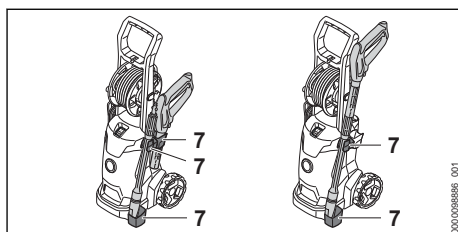
11.1 作業終了時

- ▶ 高圧洗浄機の電源を切り、電源コンセントから電源プラグを引き抜きます。
- ▶ 高圧洗浄機を給水源に接続している場合、水道栓を閉めます。
- ▶ スプレーガンのトリガーを握ります。水圧が低下します。
- ▶ スプレーガンのトリガーをロックします。
- ▶ 高圧洗浄機を給水源から外します。
- ▶ 給水ホースを取り外します。
- ▶ ノズルとスプレーランスを取り外し、掃除します。

- ▶ スプレーガンを取り外し、スプレーガン内に残っている水を抜きます。
- ▶ 高圧洗浄機を清掃します。



- ▶ 高圧ホース (1) をリールに均一に巻き付けます。
- ▶ 電源ケーブル (2) をホルダー (3) に巻き付けます。
- ▶ 電源ケーブル (2) をクリップ (4) で固定します。
- ▶ スプレーセット (5) を差し込みます。
- ▶ ノズル (6) を差し込みます。



- ▶ スプレーアタッチメントを高圧洗浄機のホルダー (7) に取り付け、保管します。

11.2 不凍液による高圧洗浄機の保護

輸送中または保管中に高圧洗浄機が凍結するおそれがある場合は、グリコールベースの不凍液で高圧洗浄機を保護してください。不凍液によって高圧洗浄機内部で水が凍結しなくなり、機器の損傷を防ぐことができます。

- ▶ スプレーランスを取り外します。
- ▶ 高圧洗浄機に可能な限り短い給水ホースを接続します。給水ホースが短ければ短いほど、不凍液の必要量が減ります。
- ▶ 不凍液の取扱説明書に従って不凍液を混合します。
- ▶ 不凍液を清潔な容器に注ぎ入れます。
- ▶ 給水ホースを不凍液を入れた容器に入れます。
- ▶ スプレーガンのトリガーを握ったまま保持します。
- ▶ 高圧洗浄機の電源を入れます。
- ▶ スプレーガンから不凍液が均一に吐出されるまでスプレーガンのトリガーを握ったままにし、スプレーガン在不凍液の容器内に入れます。

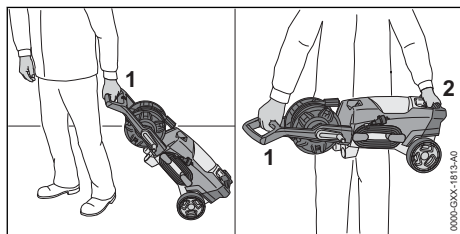
- ▶ スプレーガンのトリガーを握ったり、放したりする操作を数回行います。
- ▶ 高压洗浄機の電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- ▶ スプレーガンと給水ホースを取り外し、不凍液を容器に排出させます。
- ▶ 不凍液は適用される法規制に従い、環境に配慮した方法で保管し、廃棄してください。

12 運搬

12.1 高压洗浄機の運搬

- ▶ 高压洗浄機の電源を切り、電源コンセントから電源プラグを引き抜きます。
- ▶ 洗剤タンクから洗剤を抜くか、倒れたり、ずれたりしないよう洗剤タンクを固定します。

高压洗浄機の運搬や移動



- ▶ ハンドル (1) で高压洗浄機を引き、移動してください。
- ▶ ハンドル (1) とキャリングハンドル (2) を持って高压洗浄機を運搬してください。

高压洗浄機の車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう、高压洗浄機を固定してください。
- ▶ 輸送中に高压洗浄機が凍結するおそれがある場合は、高压洗浄機を不凍液で保護してください。

13 保管

13.1 高压洗浄機の保管

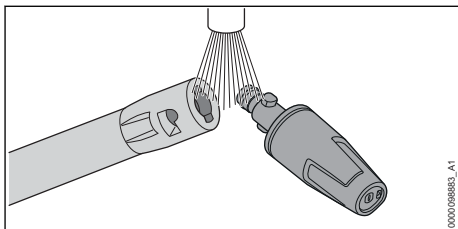
- ▶ 高压洗浄機の電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- ▶ 高压洗浄機は、次の条件を満たすように保管してください：
 - 子供の手の届かない場所に保管する。
 - 高压洗浄機を清潔かつ乾燥した状態にする。
 - 屋内で保管する。
 - 0°C以上の温度範囲の場所に保管する。
 - 保管中に高压洗浄機が凍結するおそれがある場合：高压洗浄機を不凍液で保護してください。

14 清掃

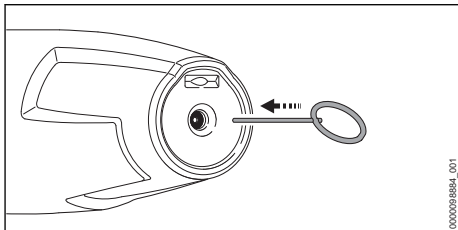
14.1 高压洗浄機とアクセサリーの清掃

- ▶ 高压洗浄機の電源を切り、電源コンセントから電源プラグを引き抜きます。
- ▶ 湿らせた布で高压洗浄機、高压ホース、スプレーガン、およびアクセサリーを清掃します。
- ▶ 湿らせた布で高压洗浄機のコネクターとカップリング、高压ホース、およびスプレーガンを清掃します。
- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。

14.2 ノズルとスプレーランスの清掃

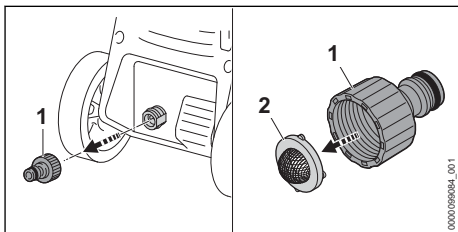


- ▶ ノズルとスプレーランスを流水で洗浄し、布で拭いて乾かします。



- ▶ ノズルが詰まった場合、ノズルをクリーニングピンで清掃します。

14.3 給水ストレーナーの清掃

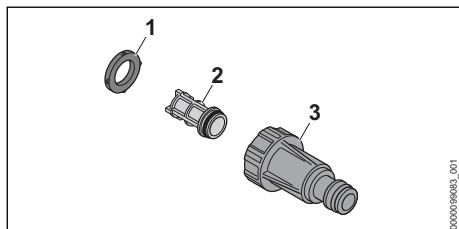


- ▶ 水接続口のコネクター (1) をねじって外してください。
- ▶ 給水ストレーナー (2) をコネクターから取り出してください。
- ▶ 給水ストレーナー (2) の汚れを流水で洗い落としてください。

- ▶ 給水ストレーナー (2) をコネクターに取り付けてください。
- ▶ コネクター (1) をねじ込んで、手でしっかりと締め付けてください。

14.4 水フィルターの清掃

水フィルターを清掃するには分解する必要があります。



- ▶ ガasket (1) をフィルターハウジング (3) から取り出してください。
- ▶ フィルター (2) をフィルターハウジング (3) から取り出してください。
- ▶ ガasket (1) とフィルター (2) の汚れを流水で洗い落としてください。

- ▶ ガasket (1) に水栓用グリスを塗布してください。
- ▶ 水フィルターを再び組み立ててください。

15 整備

15.1 整備間隔

整備間隔は、周囲条件と作業条件によって変化します。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

毎月

- ▶ 給水ストレーナーを清掃します。

16 修理






16.1 高圧洗浄機の修理



ユーザーが高圧洗浄機とアクセサリーを修理することはできません。

- ▶ 高圧洗浄機またはアクセサリーが損傷した場合：高圧洗浄機またはアクセサリーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。

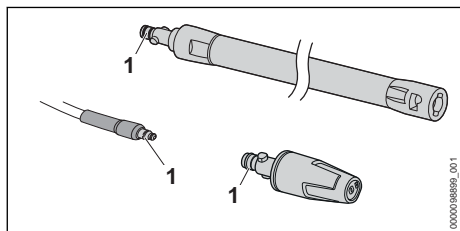
17 トラブルシューティング

17.1 高圧洗浄機の不具合解消

不具合	原因	処置
スプレーガンのトリガーを握っても高圧洗浄機が始動しない。	電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない。	▶ 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。
	漏電遮断器 (ヒューズ) または残留電流回路ブレーカーが働いた。回路内で電気的な過負荷または不具合が生じている。	▶ 原因を究明し、修理します。漏電遮断器 (ヒューズ) または残留電流回路ブレーカーを正常な状態に戻します。 ▶ 同一回路に接続されている他の電気機器を切ります。
	コンセントのヒューズ定格が低すぎる。	▶ 電源ケーブルのプラグを適切な定格のコンセントに差し込みます、  18。
	延長ケーブルの断面積が不適切。	▶ 断面積が十分な延長ケーブルを使用してください、  18.2。
	延長ケーブルが長すぎる。	▶ 適切な長さの延長ケーブルを使用してください、  18.2
電源を入れても、高圧洗浄機が始動しない。電動モーターからブーンという音がする。	電動モーターが熱すぎる。	▶ 高圧洗浄機を 5 分間冷却します。 ▶ ノズルを掃除します。
	主電源の電圧が低すぎる。	▶ スプレーガンのトリガーを握り、高圧洗浄機をオンにします。 ▶ 同一回路に接続されている他の電気機器を切ります。
	延長ケーブルの断面積が不適切。	▶ 断面積が十分な延長ケーブルを使用してください、  18.2。
	延長ケーブルが長すぎる。	▶ 適切な長さの延長ケーブルを使用してください、  18.2

不具合	原因	処置
操作中に高圧洗浄機が停止する。	電源ケーブルまたは延長ケーブルのプラグがコンセントから外れた。	▶ 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。
	漏電遮断器 (ヒューズ) または残留電流回路ブレーカーが働いた。回路内で電気的な過負荷または不具合が生じている。	▶ 原因を究明し、修理します。漏電遮断器 (ヒューズ) または残留電流回路ブレーカーを正常な状態に戻します。 ▶ 同一回路に接続されている他の電気機器を切ります。
	コンセントのヒューズ定格が低すぎる。	▶ 電源ケーブルのプラグを適切な定格のコンセントに差し込みます、  18。
	電動モーターが熱すぎる。	▶ 高圧洗浄機を 5 分間冷却します。 ▶ ノズルを掃除します。
スプレーガンのトリガーを握らない状態で、高圧ポンプのオン/オフが繰り返される。	高圧ポンプ、高圧ホース、またはスプレーアタッチメントが漏れている。	▶ STIHL サービス店に高圧洗浄機の点検を依頼してください。
吐出圧力が変動するか、低下する。	給水量が十分でない。	▶ 水道栓を完全に開けます。 ▶ 給水量が十分を確認します。
	ノズルが詰まっている。	▶ ノズルを掃除します。
	給水ストレーナーまたは水フィルターが詰まっている。	▶ 給水ストレーナーまたは水フィルターを掃除します。
	高圧ポンプ、高圧ホース、またはスプレーアタッチメントが漏れているか、故障している。	▶ STIHL サービス店に高圧洗浄機の点検を依頼してください。
吐出水の形状が変化した。	ノズルが詰まっている。	▶ ノズルを掃除します。
	ノズルが摩耗している。	▶ 新しいノズルを取り付けます。
洗剤が吸引されない。	容器が空になっている。	▶ 容器に洗剤を入れます。
	スプレーセットのノズルが詰まっている。	▶ スプレーセットのノズルを掃除します。
高圧洗浄機、高圧ホース、スプレーガン、またはスプレーランスが接続しにくい。	接続部のガスケットにグリースが塗布されていない。	▶ ガスケットにグリースを塗布します。  17.2

17.2 ガスケットの潤滑



- ▶ ガスケット (1) には接続部用グリースを塗布してください。

18 技術仕様

18.1 高圧洗浄機 STIHL RE 90.0 PLUS

100 V / 50 - 60 Hz 仕様

- ヒューズ (C 種または K 種): 15 A
- 消費電力: 1.4 kW
- 感電保護クラス: II
- 電氣的保護等級: IPX5
- 動作圧力 (p): 6.7 MPa (67 bar)
- 最大許容圧力 (p max.): 10 MPa (100 bar)
- 最大給水圧力 (p in max.): 1 MPa (10 bar)
- 最大流量 (Q max.): 7.5 l/min (450 l/h)
- 最小流量 (Q min.): 5.4 l/min (320 l/h)
- 最大吸込高さ: 0.5 m
- 吐出モードでの最高水温 (t in max): 40 °C

- 吸込モードでの最高水温：20℃
- 寸法
 - 長さ：340 mm
 - 幅：320 mm
 - 高さ：880 mm
- 高圧ホースの長さ：6 m
- アクセサリが取り付けられた状態での重量 (m)：9 kg

127 V / 60 Hz 仕様

- ヒューズ (C 種または K 種)：15 A
- 消費電力：1.5 kW
- 感電保護クラス：II
- 電気的保護等級：IPX5
- 動作圧力 (p)：7.2 MPa (72 bar)
- 最大許容圧力 (p max.)：10 MPa (100 bar)
- 最大給水圧力 (p in max.)：1 MPa (10 bar)
- 最大流量 (Q max.)：7.5 l/min (450 l/h)
- 最小流量 (Q min.)：5.5 l/min (330 l/h)
- 最大吸込高さ：0.5 m
- 吐出モードでの最高水温 (t in max)：40℃
- 吸込モードでの最高水温：20℃
- 寸法
 - 長さ：340 mm
 - 幅：320 mm
 - 高さ：880 mm
- 高圧ホースの長さ：6 m
- アクセサリが取り付けられた状態での重量 (m)：9 kg

220 V ~ 240 V / 50 ~ 60 Hz 仕様

- ヒューズ (C 種または K 種)：10 A
- 消費電力：2.1 kW
- 最大許容電源インピーダンス：0.21 Ω
- 感電保護クラス：II
- 電気的保護等級：IPX5
- 動作圧力 (p)：10 MPa (100 bar)
- 最大許容圧力 (p max.)：13 MPa (130 bar)
- 最大給水圧力 (p in max.)：1 MPa (10 bar)
- 最大流量 (Q max.)：7.4 l/min (440 l/h)
- 最小流量 (Q min.)：5.8 l/min (350 l/h)
- 最大吸込高さ：0.5 m
- 吐出モードでの最高水温 (t in max)：40℃
- 吸込モードでの最高水温：20℃
- 寸法
 - 長さ：340 mm
 - 幅：320 mm
 - 高さ：880 mm
- 高圧ホースの長さ：6 m
- アクセサリが取り付けられた状態での重量 (m)：9 kg

圧力に応じて異なるデータは、0.3 MPa (3 bar) の給水圧力で測定された値です。

18.2 延長ケーブル

延長ケーブルを使用するときは、アースリードが内蔵され、ケーブル (導体) の断面積が以下の最低要件 - 延長ケーブルの線間電圧と長さによって異なる - を満たす必要があります：

定格ラベルに記載されている定格電圧が 220V から 240V までの場合：

- 20 m までのケーブル長：AWG 15 / 1.5 mm²
- 20 m から 50 m までのケーブル長：AWG 13 / 2.5 mm²

定格ラベルに記載されている定格電圧が 100 V から 127 V までの場合：

- 10 m までのケーブル長：AWG 14 / 2.0 mm²
- 10 m から 30 m までのケーブル長：AWG 12 / 3.5 mm²

18.3 音圧・音響・振動レベル

騒音の音圧レベルの K 値は、2 dB(A) です。騒音の音響出力レベルの K 値は、2 dB(A) です。振動レベルの K 値は、2 m/s² です。

- EN 60335-2-79 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA}：80 dB(A)
- EN 60335-2-79 に準拠して測定した音響出力レベル L_{wA}：89 dB(A)
- EN 60335-2-79 に準拠して測定した振動レベル a_h、ファンジエットノズル：≤ 2.5 m/s²

振動に関する事業者への指令 2002/44/EC の遵守に関しては、www.stihl.com/vib をご覧ください。

19 スペアパーツおよびアクセサリ

19.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

20 廃棄

20.1 高圧洗浄機の廃棄

廃棄に関する情報については、現地の行政当局または STIHL サービス店にお問い合わせください。

不適切に廃棄すると、健康被害や環境被害につながる可能性があります。

- ▶ STIHL 製品は梱包材も含めて、現地の規則に従って適切な資源回収ステーションに出してください。
- ▶ 家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

www.stihl.com



0458-003-4321-B



0458-003-4321-B